



「第22回 民間技術交流会」の聴講者募集

－ コロナ対策として、初のオンライン交流会を開催 －

1. 概要 中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、その技術を港湾整備関係者にプレゼンテーションをしていただく場として「民間技術交流会」を開催しております。
- 第22回交流会は、新型コロナウイルス対策として、初めてオンラインセミナー形式で開催します。本交流会は CPDS 認定学習講習会であり、開催にあたり、建設関係に従事されている方の聴講を広く募集します。
2. 日時 令和2年10月22日(木) 13時30分～17時00分
3. 開催方法 オンラインセミナー(WEB 開催)
4. 発表技術
- ①流電陽極寿命推定に使用する陽極出力電流逆解析手法の紹介
【日本防蝕工業株式会社】
 - ②港湾・空港における建設発生土等を活用した回転式破碎混合工法((旧)KT-090048-VE)による混合土製造事例【日本国土開発株式会社】
 - ③ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)【前田工織株式会社】
 - ④栈橋上部工の高耐久化技術(スーパープレテン®)
【株式会社日本ピーエス】
 - ⑤Re-Pier 工法【あおみ建設株式会社】
- ※各発表技術の概要は別紙参照
5. 募集要項
- 募集対象 : 建設関係者
- 募集人数 : 50 名程度
- 応募方法 : ◆下記の必要事項を記載したメールを申込先まで送信して下さい(メールの表題に「民間技術交流会」と記載願います)
- ①お名前・ご所属・役職・所属先住所
 - ②連絡先(Mail、Tel、Fax)
 - ③CPDS 会員番号 ※希望者のみ
 - ④CPDS 技術者証のカラーコピーの添付 ※希望者のみ
- ※学習履歴の代行申請、および受講中のモニター管理における本人確認のために必要です。



◆メール1通につき応募者1名とします

(応募者が複数である場合は非選定とします)

◆申込先 (事務局) 特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム

E-mail : contact@isewanforum.org

参加費用 : 無料

応募締切 : 令和2年10月2日(金) 17時

選定方法 : 応募数が募集人員を上回る場合は、応募締切後、抽選のうえ決定します

当選通知 : 令和2年10月5日(月)に、当選者のみメールで返信します

6. その他

◆本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(4ユニット付与)

◆本交流会の学習履歴申請は、主催者が代行します。

◆受講のエビデンスは、専属の管理者が受講者のモニター管理を行います。また、受講中に3回、受講者全員分のスクリーンショットを行い、(一社)全国土木施工管理技士会連合会に提出します。

7. 注意事項

◆本交流会は web 会議アプリケーションによるオンラインセミナーです。

◆参加にあたり、PC(1人1台、10インチ以上のタブレットも可)、マイク・スピーカー・WEBカメラ(PCに付属していない場合)、ネットワークを用意していただく必要があります。

◆web 会議アプリケーションおよび利用環境は以下のとおりです。

種別	製品名
OS	Windows10
ブラウザ	Internet Explorer、Chrome、FireFox
アプリケーション	Skype for Business Web App (ブラウザ版)

◆web 会議への参加方法は、名古屋港湾空港技術調査事務所ホームページに掲載しております。

URL : <http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>

◆聴講者向けの接続テストを予定しております。テストの日程は開催日の1週間前を予定しておりますが、詳細は後日ご連絡します。

8. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

9. 問合せ先

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 村上(むらかみ)、六ツ名(むつな)

連絡先 : TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477



(別紙) 第 22 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

	発表技術	発表者	技術の概要
1	流電陽極寿命推定に使用する陽極出力電流逆解析手法の紹介	日本防蝕工業株式会社	電気防食装置の取付工については、30年耐用-2.5A(アンペア)型などと記載されていますが、維持管理上、陽極の残寿命推定は、詳細定期点検時に潜水作業により確認を行っています。 今回の技術工法では、潜水作業を無くし、安全で低コストな調査で陽極の残寿命が推定できます。
2	港湾・空港における建設発生土等を活用した回転式破碎混合工法((旧)KT-090048-VE)による混合土製造事例	日本国土開発株式会社	回転式破碎混合工法は、円筒内を高速回転する複数本のフレキシブルのチェーンの打撃力により、地盤材料(建設発生土等)の破碎と細粒化(解砕)を同時に行うとともに、均一に添加材料を分散する効果を有する土質改良工法です。
3	ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)	前田工織株式会社	『ネットバッファ工法』は、吸出し、陥没リスクの抑制に向けて、ケーソン目地部にネット製の緩衝材を活用した透過波力低減法です。 ケーソン間目地部に緩衝材を所定の設置方法で挿入し、目地透過波を減衰させることによって防砂板の長寿命化を図ります。
4	栈橋上部工の高耐久化技術(スーパープレテン®)	株式会社日本ピーエス	栈橋上部工が曝される環境はコンクリート部材にとって極めて苛酷であるため、コンクリートの耐久性向上が最大の課題となっています。 本技術は、高強度コンクリートと高強度PC鋼材による高耐久プレキャスト部材「スーパープレテン®」であり、栈橋上部工の高耐久化を図り長寿命化を実現します。
5	Re-Pier 工法	あおみ建設株式会社	既設栈橋の鋼管杭を伸縮式のストラット部材で連結することで、耐震性の向上や増深化を図る工法です。 従来は上部工を撤去してストラット部材を設置後、上部工を新設することで対応していました。 本技術では上部工の撤去が不要なため、岸壁を供用しながら施工でき、工程短縮、工費縮減が可能です。

第22回民間技術交流会

中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、「技術交流会」を開催します。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、初めてのオンラインセミナー形式で開催します。開催にあたり、建設関係に従事されている技術者の聴講を募集します。



スマートホンからスキャン
ここから↑
カンタン申込QR

日時 令和2年10月22日(木) 13:30~17:00 (13:00~接続開始)

開催方法 オンラインセミナー※参加無料

事前申込みの上、各自ご自宅や会社等からご参加頂けます。

環境 インターネットが繋がるPC、または10インチ以上のタブレットで、マイク・スピーカー・WEBカメラ(PCに付属していない場合)が使える環境をご用意ください。※WiFi環境でのご参加をお勧めします。
※聴講者向けの接続テストを予定しております。

申込方法 聴講ご希望の方は、下記アドレス又は右記QRコードよりお申込み下さい。※定員50名

申込期間 9月18日(金)~10月2日(金)

申込先 【事務局】特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム 【mailアドレス contact@isewanforum.org】

※申込必要事項 メールに「民間技術交流会」と記載し、①お名前②会社名・所属及びお役職名
③所属先ご住所④連絡先(mail/Tel/Fax)⑤CPDS会員番号⑥CPDS技術者証のカラーコピーの添付
(但し、⑤⑥希望者のみ)をご記入下さい。

※メール1通につき応募者1名(複数の場合は非選出)、応募多数の場合は抽選となります。
当選者の方へは、オンライン参加用のURLをお送り致します。

本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です。(4ユニット付与)

※本交流会の学習履歴申請は、主催者側が代行します。
(受講のエビデンスは専属の管理者が受講者のモニター管理を行います。
また、受講中に3回、受講者全員のスクリーンショットを行い、
(一社)全国土木施工管理技士連合会に提出します。)

■スケジュール

13:30~13:50

1. 開会

主催者挨拶/名古屋港湾空港技術調査事務所長

13:50~16:50

2. 技術発表【5題】

①流電陽極寿命推定に使用する陽極出力電流逆解析手法の紹介
【日本防蝕工業株式会社】

②港湾・空港における建設発生土等を活用した回転式破碎混合工法
[(旧)KT-090048-VE]による混合土製造事例
【日本国土開発株式会社】

~休憩~

③ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)
【前田工織株式会社】

④栈橋上部工の高耐久化技術(スーパープレテン®)
【株式会社日本ピーエス】

⑤Re-Pier工法
【あおみ建設株式会社】

16:50~17:00

3. 閉会



①陽極出力電流逆解析手法



②回転式破碎混合工法
[(旧)KT-090048-VE]



③ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)



④スーパープレテン®



⑤Re-Pier工法
[KTK-160022-A]

問い
合わせ

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 <担当:村上・六ツ名>
〒457-0833名古屋市長久東又兵衛町一丁目57-3 ☎052-612-9984

